

できる・できる・できる

校訓：「自主・友愛・飛躍」

令和3年 9月 1日

No.24

長崎市立戸町中学校

文責 校長 大橋 功

<http://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/>

「実りの秋」となるように！

令和3年9月1日。今日から一番長く、学校行事をはじめ、校内外の行事が多い2学期が始まります。と言うことは、厳しさを乗り越える体験。



自分が役立っていることを実感する体験。級友をはじめ、先輩や後輩たちの良さや凄さに触れる体験。そこに至るまでの失敗や成功を通じ、達成感や成就感等を味わうことのできる学期であるということです。

新型コロナウイルス感染症対策に伴い、内容の変更と縮小、場合によっては中止の可能性も拭きません。しかし、保護者の皆様も、戸町中の生徒たちが成長している姿を目の当たりにする機会が増えるということでもあります。(*^~^*)v

始業式では、生徒たちにとって「実りの秋」となるよう願いを込めて話をしました。(一部紹介します)

「な・つ・や・す・み」の言葉に乗せた、みなさんへの五つのお願い「挑戦・継続・達成・親孝行・生命の尊重」は達成できましたか？

特に、最後のお願い「生命の尊重」については、夏休み期間中、大きな事故や怪我がなく、2学期を無事に迎えることができることに、校長先生はうれしくなりません。

今日は、2学期のスタートにあたって、みなさんに「ハチドリのひとしずく」という話を紹介します。



この話は南米アンデス地方の先住民に伝わる民話で、森に住むクリキンディという名前のハチドリの話です。(内容を簡単に紹介) -----

森が燃えています。森の動物たちは我先にと逃げています。しかし、クリキンディというハチドリだけは、小さなくちばしで水をくわえて、何度も火の上にと落ちてはいます。動物たちがそれを見て「そんなことして何になるんだ」と笑います。クリキンディは「私は私にできることをしているだけ」と応えました。

私たちは、自分は何もしないで他人を批判したり自分で努力しないことを言い訳することがよくあります。まずは、何事も自分にできることを精一杯やってみることが大切ではないでしょうか。

また、考えをもう一步進めて、自分一人だけではなく、協力してくれる仲間をつくり、一緒に行動することができれば、より大きな力となるはずです。



このことは、まさに、校訓「自主・友愛・飛躍」に通じるところがあります。

2学期は、体育大会をはじめ、駅伝大会、連合音楽会、修学旅行、人権集会、進路決定 等々、一人一人



の努力は元より、学年や学校全体で力を合わせて取り組むべき行事がたくさんあります。そこには、みなさん一人一人の力を発揮できる場

があります。一人一人の力は小さくても、312名全員で力を合わせることができれば、どんなに素晴らしいものができるのだろうと、校長先生はワクワクしています。

そこで、2学期は、一人一人の力、すなわち“一人のできる”を合わせていくことで大きな力である、戸町中プライド“できる・できる・できる”に繋げて、様々な困難にもしっかりと立ち向かしましょう。



また、3年生にとっては、あたたかな15の春を夢見て、自分の進路について、しっかりと正しく悩み、自分が信じる道を選択してください。

みなさんにとって2学期が充実した「実りの秋」となることを心から期待しています。

※当初、始業式は体育館で実施する予定でしたが、残念ながら校内放送を使っでの始業式となりました。

まん延防止等重点措置に伴う対応策の強化と徹底！



8月27日（金）から9月12日（日）まで、長崎市に発表されました「まん延防止等重点措置」。本校では、ご承知の通り感染予防策について実践してきました。2学期からは、さらに、強化と徹底を図ります。

なお、新たな強化と徹底事項の実施期間は、一先ず「まん延防止等重点措置」終了までですが、校長がその後も必要と判断する場合は、9月12日（日）以降も継続したいと考えています。

＜これまでの対応策＞

- ・換気 ・マスク着用 ・手指消毒 ・朝の検温確認
- ・給食時の黙食

＜新たな対応策の強化と徹底＞

★換気の徹底

外側、廊下側の窓は、終日開けたまま。天候や気温に応じてエアコン、扇風機は終日ONの状態。



★生徒全員の検温強化

朝の検温確認以外に、日課の途中に検温時間（約3～4分程度）を設定し、全生徒の検温実施。平熱よりも1度高い場合は、これまで通り、保護者に連絡しお迎えをお願いし下校させる。



★教室環境の消毒強化

生徒下校後、学級の机・椅子の消毒。トイレのドアノブや手洗い場を含む水道蛇口、教室や特別教室等の電気スイッチを消毒。

※本来ならば、「うがい」も強化すべきですが、多くの生徒が一斉に手洗い場に集中し、うがい水の飛まつ等で、逆に、感染リスクが高まると判断し、あえて入れていません。しかし、手洗い場の状況や個々の体調等に応じて「うがい」を実施することはこれまで通り可能です。

※担任は元より、職員は教室を移動するので、毎時間確実に手指消毒を行う。

※全職員の検温は、校長が毎朝確認しています。

なお、感染者や濃厚接触者等に対する偏見や差別は、絶対に許されません。新型コロナウイルスや感染症対策を含め、正しい知識と正しい判断で、正しく怖がりながら対応していくことが大切です。みんなで協力し対応していきましょう。m(_ _)m

熱中症対策とマスクの着用

夏休み期間中に、学校にお叱りの電話を頂きました。内容は、「中学生がマスクを付けずに外を歩いているが、学校ではどのような指導をしているのか？」でした。



私たちは、その時の生徒の状況を直接は見ていないので、まずは丁寧に謝罪しました。そして、ご理解をいただくために、次のような内容を添えました。

〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇

「生徒たちには、マスク着用を行うように日頃から指導しております。しかし、気温30度以上にもなる炎天下の中で、マスクを着用したままでは、体温の調整が上手に機能せずに、熱中症の危険性があります。最悪の場合は、命に関わることになるので、外で活動する際には状況に応じて、まず、自分の命を守る対応を取りなさいと指導しております。」

〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇～〇

ご承知の通り、私たちの体温は一人一人異なります。また、炎天下でのマスク着用は尚更体温の調整が難しい場合もあります。さらに、生徒の中には、尋ねられたらきちんと回答できる子もおりますが、注意されると気が動転し、畏縮して何も応えられずに、体調不良のままマスクを付け直す生徒もいます。

まずは、マスクの未着用を目撃されたら、子どもの話を聞き、単なる付け忘れ等であればその場で注意していただく。逆に、体調不良の様であれば、症状等に応じた対処を即座にお願いします。

我々も引き続き指導して参りますので、どうぞ、ご理解とご協力、そして、見守りをお願いいたします。

心の種

今回のテーマは「校舎を磨くあなたの心もピッカピカ」

「雑巾は、他の汚れを一生懸命拭いて、自分は汚れにまみれている。」という言葉があります。

本校は、歴史のある校舎で、廊下や壁など所々傷みがあったりしますが、美しい輝きの裏側には、汗まみれになって掃除をしている生徒たち



や庁務員の山口さんの姿があります。今日の大掃除も、黙想に始まり、夏期休業期間中の教室や廊下の汚れ拭き取りきれいにしてくれました。心地よい環境づくりに感謝！